

教育費で困った…まずは申請！

“就学援助”の利用がおすすめ💡

制服、体操着、給食費、算数セット…毎月の出費が大変
今の「困った」、将来の「困った」を応援する制度です！

就学援助制度は、「義務教育は無償」とした憲法第 26 条などの関係法に基づいて、小中学生のいる家庭に学用品や入学準備金、給食費、医療費などを補助し、すべての子どもの学習する権利を保障するための制度です。

すべての子どもたちの学ぶ環境を保障

すべての子どもたちに学習権があり、それを当たり前のように満たしていくためにも、まずはすべての子どもたちが同じように学び、成長できる環境を保障することが大事です。

「自分は買える、買えない家の子はしょうがない」ではなく、子どものときから「あたりまえ」に人権が守られるという中で育っていくことが大切です。



どんな
援助が
受けられる？

就学援助の支給内容と金額について国の基準は右表のとおりです。自治体によって独自に項目を増やしたり、支給額を国の補助額に上乗せしているところがあります。

新日本婦人の会は各地で入学準備金を入学前に前倒しで支給するよう要請し、多くの自治体で入学前に支給するように改善されています。

支給項目	小学校	中学校	
学用品費	11,630	22,730	
通学用品費	2,270	2,270	
<small>小中学校の第1学年は新入学児童生徒学用品等費で設置</small>			
新入学児童生徒学用品費等	57,060	63,000	
校外活動費	宿泊を伴わない	1,600	2,310
	宿泊を伴う	3,690	6,210
体育実技用具費	スキー	26,500	38,030
	スケート	11,810	11,810
	柔道		7,650
	剣道		52,900
修学旅行費	22,690	60,910	
通学費	40,020	80,880	
クラブ活動費	2,760	30,150	
生徒会費	4,650	5,550	
PTA会費	3,450	4,260	
医療費	トラコーマや結膜炎、中耳炎、虫歯、寄生虫、など6つの学校病の治療費		
給食費(完全給食標準単価)	56,000	64,000	
卒業アルバム代等	11,000	8,800	
オンライン学習通信費	14,000	14,000	
<small>オンライン学習に必要な通信費(モバイルルーター等の通信機器の購入又はレンタルに係る費用を含む)(2024年政府予算案から作成、年額、単位:円)</small>			

高すぎる保護者負担を わたしたち給食無償化を求めています！

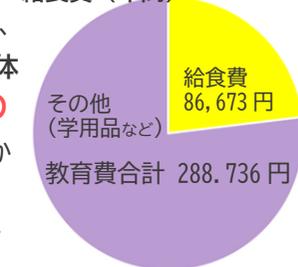
無償化の自治体が増えています

新婦人は給食無償化を求める署名や要請を各地で行い、青森県や東京都 23 区内など全国で 490 を超える自治体が小・中学校ともに無償化を実施！規模に関わらず、どの自治体でも予算の約1%で実現できるので、出すか出さないかの問題です。また、学校給食食材費の値上がりを防ぐために、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を 2024 年度以降も継続させることを求めています。

安全&安心な給食を

地場産や有機食材を使用することで、子どもたちの健康増進、環境保全、食料の増産につながります。また食生活や地域の食文化への関心もアップ！新婦人でも自治体への要請で、和歌山・滋賀・熊本・石川などで給食に国産や県産小麦の使用が実現！

教育費保護者負担に占める給食費(年間)



※公立の小・中学生の子どもが1人ずついる家庭の場合

- ① 教育委員会の窓口で直接申請する
(オンライン申請や郵送で受け付ける自治体もあり)
- ② 学校を通して申請する

の2通りあります。申請はいつでもできます。憲法の「義務教育は無償」の立場から、本来ならだれもが支給されるべきですが、現在は生活保護を受給する要保護世帯と、それに準じる準要保護世帯が対象になっています。

昨年から、東京・杉並区が「物価高から区民の命と暮らしを守る」と就学援助対象を拡大するなど各地で対象拡大の動きが広がっています。

